

## 年頭所感

---



代表取締役会長兼社長  
廣内 武

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は富士山の世界遺産登録や2020年東京オリンピック開催決定など、久々に日本中が明るい話題に包まれた一年でした。足元の景況も、アベノミクス効果による円安・株高が進み20年来のデフレ脱却に期待が高まっています。

ファッションビジネスを取り巻く環境も、高感度・高品質商品が見直され、消費者の本物志向がますます顕著になっています。4月の消費増税などの懸念材料はありますが、この分野はオンワードグループの強みが発揮できる領域であり、この機をチャンスと捉え「攻めの年」とするべく積極果敢にアクションを起こしていきます。そのひとつが、今春スタートするライフスタイル型新ブランド「シェアパーク」です。“シェア”には「グループ企業の財産をシェア（共有）し、顧客と喜びをシェア（分かち合う）する新たなビジネスの創造」という想いを込めています。

オンワードグループは、常に感性と品質を兼ね備えた付加価値の高いモノづくりを追求し、ブランドを磨くとともに、「サムシング・ニュー」を提案し続けることが生活文化企業としての大切な使命であると考えています。

引き続き皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。